

2018.07.16 明石アクアスロン 参戦記

前田 美里

初めてのアクアスロン、そして初めてのパラアスリートのガイドをしてきました。

競泳の仲間を通じて紹介いただいたガイドという競技参加。1度練習会にお邪魔させていただき、今回ガイドさせていただくあやのちゃんに会いました。20歳のかわいい女性です（弱視）。

大会当日、37度の酷暑の中のレースです。

スイムはお互いの太ももに紐をつけて離れないように泳ぎます。海でのバトルもある中、2人分のスイムコースを確保するのはなかなか難しく、更に、周りは平泳ぎも多く、「あやのちゃんが蹴られないだろうか」、という不安も抱えながら泳ぎました。最後まできれいなコース取りができず、もどかしいままスイムアップ。あやのちゃんも上手く泳げていなかったようで焦りが伝わってきました、、、コース取りができなくてごめんなさい。

トランジットではガイドせずとも脱ぎ着ができるあやのちゃんに感心しつつ、バタバタと出発。ランでは腰に紐を付けて二人で繋いで走ります。あやのちゃんはランが得意。さて、私大丈夫か……。案の定、何故か引っ張っていただく形でラン5km。1kmごとに距離とタイムを伝えるも、息切れしながらゴール。あーきつかった、、、お疲れ様でした。

他のパラチームも続々ゴール。皆さんお疲れ様でした！

本大会はパラカテゴリが無く、20歳全体での表彰だったので表彰台には上がりませんが、5位入賞。ガイドへの反省もあり、あやのちゃんならもっとできたかも、と心残りでした。来年はしっかり引っ張ってあげたいです。こんなガイドなのに、信用してついてきてくれてありがとう。

自分の為でなく、誰かのために走り、ゴールを分かち合うことは初めてで、感動しました。

自分を信用してくれて、楽しかったです、と言ってきて、私の方が感謝の気持ちでいっぱいでした。次回は9月に芦屋のアクアスロンで別の女性をガイドします。あやのちゃんは弱視でしたが、次の方は全盲です。私のことを信用してもらえないと怪我にも繋がりがねないので、しっかりガイドして、ゴールへ連れて行ってあげたいです（私が引っ張られるかもしれませんが・・・）。



こんな機会を下さったトライアスロンチーム、Tri6の皆様に感謝です。パラトライアスロンは近畿でも今後も力を入れていく分野になります。もししたらKTCでも今後協力できることがあるかもしれません。そのきっかけとして、KTCの皆さんの心に少しでも刺されれば幸いです。